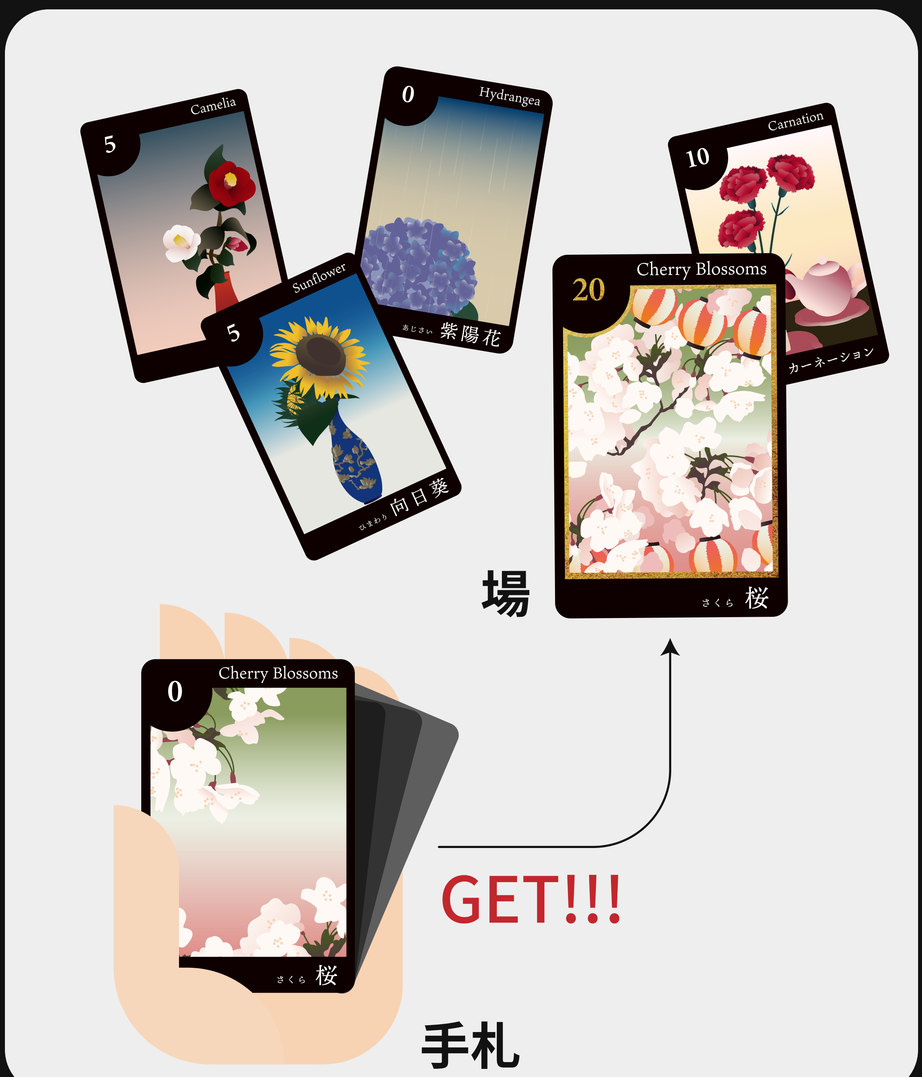
花とりどりの遊び方

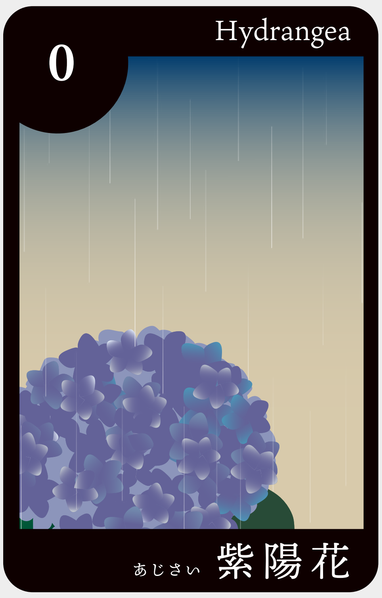
○基本ルール

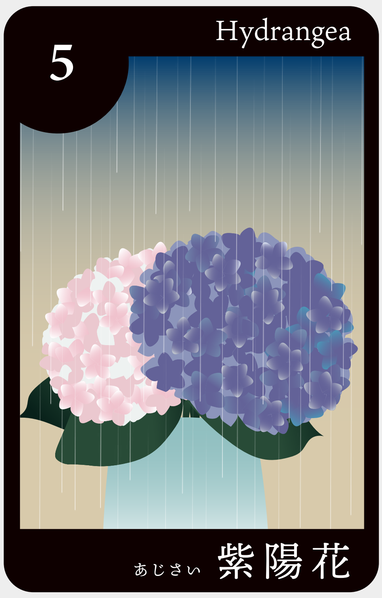
I カード

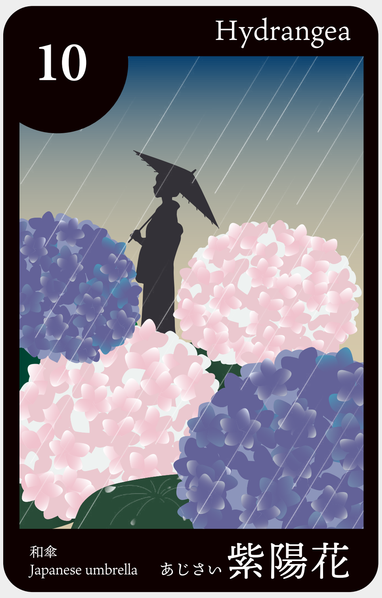
❶　カードの中には12種類（12ヶ月）の花が入っています。それぞれの花は4枚ずつになっていて、合計48枚となります。
手札と場札が同じ花であれば、自分のものにでき、そのカードの点数が得点になります。

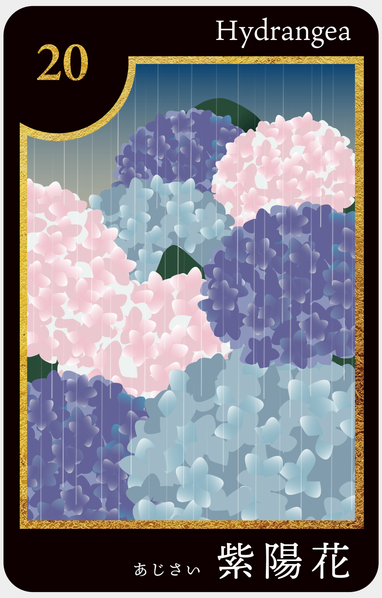


❷　それぞれの花のカードには、左上に点数が書かれています。（20点、10点、5点、0点）









❸　できるだけ多くの点数のカードを集めるのがゲームの目的です。

II　ゲームの親の決め方

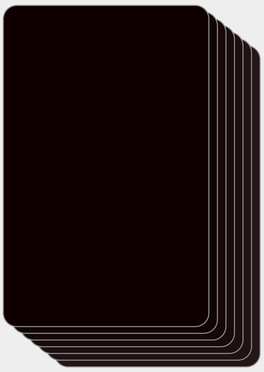
　このゲームは、2人、3人、4人で遊ぶことができます。まず親を決めます。誰かがカードをよく繰って、場に置き、好きなところで開きます。その時に点数の一番高いカードを開いた人が親になります。同じ点数ならもう一度やり直しましょう。

III　ゲームの進め方

❶　初めに、親が全部のカードをよく繰って場に伏せておきます。親の左の人がカット（カードを二つに分ける）し、下のカードの束を上に載せ、親に戻します。

2人のときの配り方

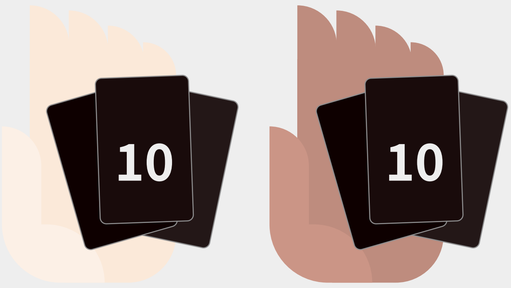
山札（裏）



20枚

場（表）

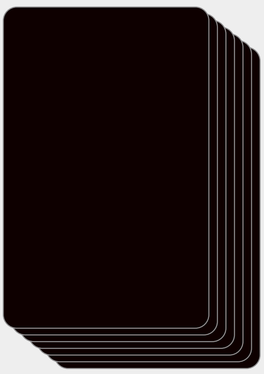
8枚



手札
（裏向きに配る）
各10枚

3人のときの配り方

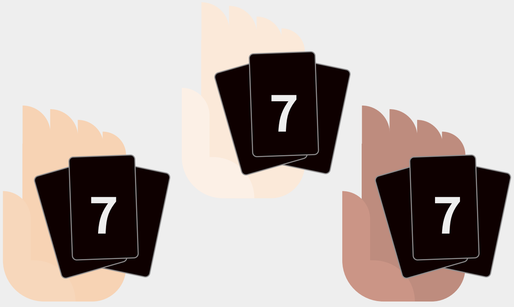
山札（裏）



21枚

場（表）

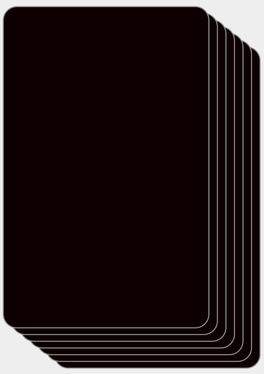
6枚



手札
（裏向きに配る）
各7枚

4人のときの配り方

山札（裏）



20枚

場（表）

8枚

手札
（裏向きに配る）
各5枚

❷　カードを配ります。まず、親の左の人から時計回りに2枚ずつ配り、最後に親、場の順に配ります。これを繰り返し、規定の枚数が配られるまで続けます。（ただし、4人で行う場合は手札が5枚となり、場が8枚となるので、2枚ずつプレーヤーに配って、場には2枚配り、最後は、まとめて場に4枚拡げ、全部で8枚になるように配ります。

配り方のまとめ

	手札 各人に配る枚数	場札 場に広げる枚数	山札 手札と場札を配った残り
2人ゲーム	10枚	8枚	20枚
3人ゲーム	7枚	6枚	21枚
4人ゲーム	5枚	8枚	20枚

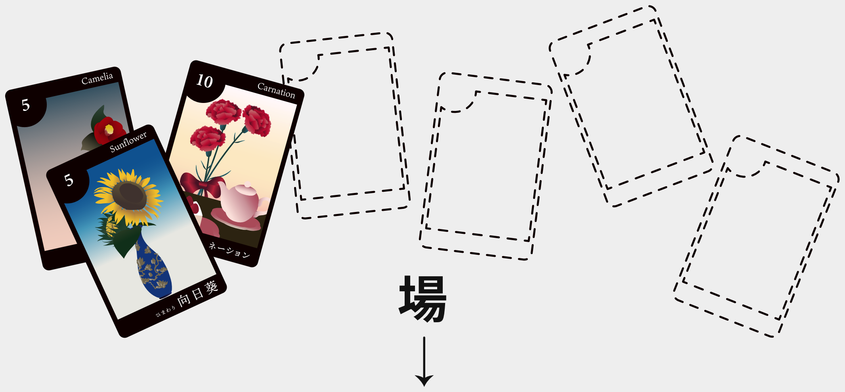
IV ゲームの開始

❶　親から始めます。手札の中で、場に出ているのと同じ花があれば、その手札を1枚場に出し、場の1枚と一緒にしておきます。山札の上から1枚をめくり、場に同じ花があれば、それも一緒に自分の持ち札にします。点数が付いていれば、それを20点、10点、5点と点数ごとに、みんなに見えるように並べます。山積カードを1枚めくっても同じ花がないなら、そのカードは場に残します。

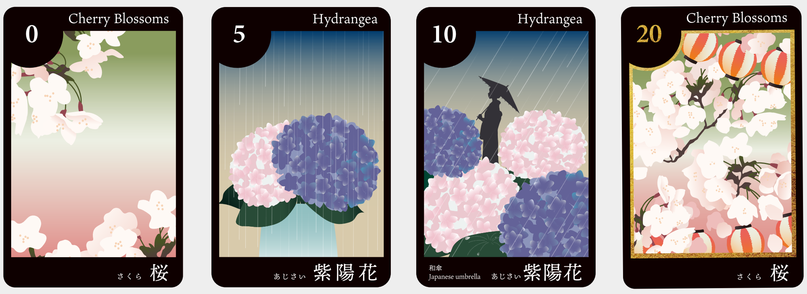
同じ花に重ねて自分のものに

山札をめくって
場に同じ花があれば自分のものに

自分のものにして並べる



持ち札（得点）



❷　手札の中に同じ花のカードが2枚、3枚とあっても、場札に同じ花が無ければ、自分の持ち札にできません。一端、場に出して、もう1枚と合わせる必要があります。
また、2枚一緒に出すことはできません。

❸　手札に場と同じ花がなくても、自分の番が来たら何か1枚を場に出さなければなりません。また山札からめくったカードを開けて、同じ種類の花が場になければ、そのまま場に残します。

❹　親の左のプレーヤーが同じことをします。つまり時計周りに進めます。これを繰り返して全員の手札がなくなると、山札も無くなります。全てのカードが持ち札になったら勝負は終わりです。

❺　例外的な場合

① 場札に同じ種類の花が3枚出ている場合

もし最初の場札に、同じ種類の花の札が3枚出ていた場合、自分の番が来た時に残りの1枚を手札に持っていて、その1枚を場に出した人か、山場から引き当てた人が場の3枚を全部取ります。

② 場札に同じ種類の花が4枚（すなわち全部）出ている場合

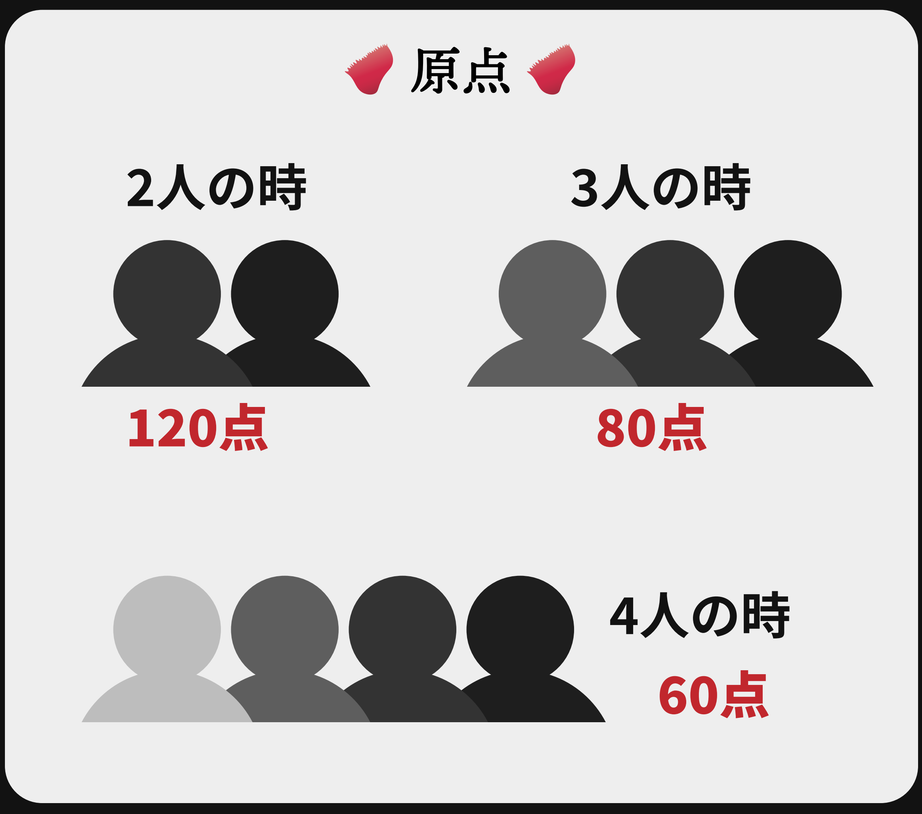
最初の場札に、同じ種類の花が4枚全部出ていた場合、それらの4枚は山札の中にできるだけバラバラに戻して、よく繰りなおし、頭から4枚を場に拡げます。

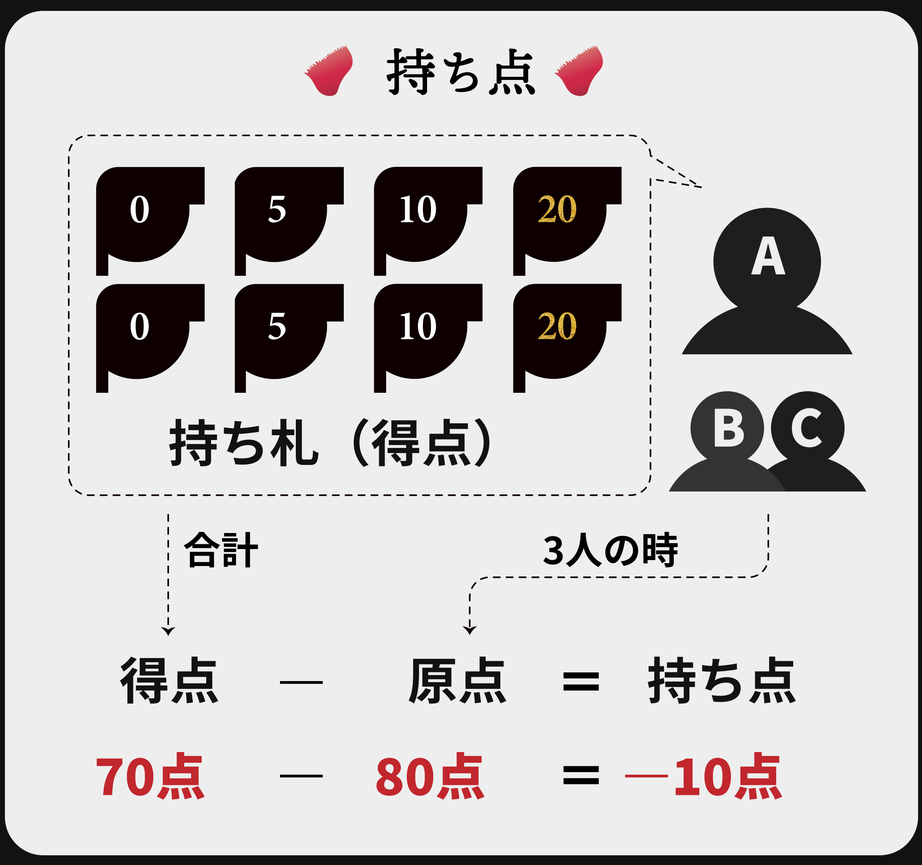
③ 手札の中に、同じ種類の花の札が4枚入っている場合

そのまま続行することも、4枚を4枚とも新しい札に交換することも可能です。それは4枚の札を手に入れたプレーヤーの判断です。3枚の場合は、交換できません。そのまま続行となります。

V 1回のゲームの終了と持ち点の計算

1回のゲームが終わったら、それぞれが自分の集めた全部の点数を合計します。そして各人が「原点」と得点を比較します。原点とは、1回のゲームで取るべき最低の点数のことです。その原点より多く得点があると、そのゲームでは勝っていることになります。その原点より少ないと、負けていることになります。カードの点数の合計は240点ですから、自分が原点よりもたくさん獲得していれば、他のプレーヤーは原点よりも少なくなります。すべてのプレーヤーの原点とのプラスマイナスの合計はゼロになります。





たとえば3人でプレイしていて、Aさん70点、Bさんが110点、Cさんが60点なら、原点が80点ですから、Aさんは、（70-80で）-10点が得点となります。
Bさんは（110-80で）＋30点、Cさんは（60-80で）-20点となります。3人の得点の合計は必ず0になります。

VI 役のカード集め

特定のカードを集めることを役と言って、ボーナス点がつきます。役には名前が付いています。

❶ 五光（ごこう）

20点を5枚集めると五光（ごこう）と呼びます。揃えると他のプレーヤーから1人25点ずつをもらいます。

❷ 四光（しこう）

20点を4枚集めると、四光（しこう）と呼びます。ただし、雨の降っているアジサイの20点が入っているときは、雨で流れるので、四光になりません。四光は他のプレーヤーから1人20点ずつをもらいます。

❸　猪鹿蝶（いのしかちょう）

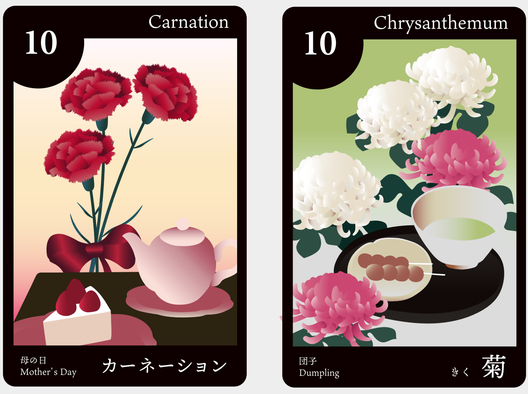
　猪、鹿、蝶が出ている3枚を集めると、他のプレーヤーから１人15点ずつもらいます。

❹　赤鉢（あかばち）、青鉢（あおばち）

　赤い鉢、もしくは青い鉢を3枚を集めると、他のプレーヤーから1人10点ずつもらいます。

❺ お茶会（おちゃかい）

紅茶とケーキ、日本茶と和菓子、これら2枚を集めると「お茶会」と呼ぶ役になります。他のプレーヤーから1人5点をもらいます。



VII ゲームの回数

ゲームは、時計回りで親が交代して進めます。1年12回が普通ですが、最小で半年（6回）することもできます。